



大谷つ子



R.8.2.1

第17号

朝日町立大谷小学校
校長 遠藤 秀彦

ふるさと大谷を想い お互いを大切にし
未来をたくましく生きる子供の育成



熱き思いの継承！

1月20日（火）、そして1月27日（火）にスキー教室を行いました。

朝日自然観スキー場は、私が5年生の頃、ロープ塔、T（ティー）バーリフトを設置し、「白倉スキー場」としてスタートしたと記憶しています。

当時の大谷小学校では、白倉でのスキー教室の他に、「蔵王坊平スキー場」での一泊二日のスキー教室や学区のスキー場「高野原（こうやばら）」での校内スキー大会が、多くの保護者の方々の熱い協力の中で行われていました。私自身、情熱をもって育ててくれた父母、そして当時の保護者の方々には感謝しかありません。

さらに体育の授業では、田んぼの中をひたすらスケーティングで滑り続け「日の丸公園」を目指したり、グラウンドに造られた築山「ミニ月山」でポール練習をしたりするなど、楽しかった思い出がたくさんあります。

スピードやターンを自在にコントロールして移動したり、友達と競い合ったりすることができるスキーは、私にとって冬の最大の楽しみでした。

しかし、現在、さまざまな事情により、スキー教室はもちろん、スキー学習も行えない学校が多くなってしまいました。

私は、幼小の頃からワインタースポーツに触れ、存分に味わえることは、雪国に生まれ育った特権だと思っています。豊かな人生を送る、生涯スポーツの原点でもあると考えています。大谷小学校でスキー学習が実施できるのは、今も昔も「子どもたちの育ちを支える」という朝日町、保護者、地域の方々の熱い思いが継承されているおかげだと感謝しています。



近年、児童数の減少に伴い保護者数も減少していたため、指導者の確保に苦慮していました。そのため、今年度は、スキー教室指導者募集の文書を全戸配布させていただきました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

（スキー教室協力者：敬称略）

【地域】白田 信幸

【保護者】堀 隼聰

白田 憲彦

塚本 哲源

川口 靖晃

長岡

小林

渡邊

遠藤

國治

潤人

保利

遠藤

隆嗣

翔

五十嵐 康倫

白田 薫



冬「山備える（※1）」 ～春「山笑う」へ向かって～

1月22日（木）、就学時オリエンテーションを行いました。

9名の年長児が、1年教室で授業を体験したり、5年生と交流したりしました。校舎に入るときは緊張していた子どもたち。終了時にはみんな笑顔。元気に帰っていました。

年長児と交流した5年生は、6年生への意識も一段と高まりました。4月から最高学年。さらなる成長が楽しみです。

保護者へは、校長より下記のような話をさせていただきました。

「現 PTA会長 佐藤 拓（ひらく）氏は、『大人が笑顔で楽しむ姿こそが、子どもたちの安心感につながる』と話されています。

私も、『大丈夫だよ』と笑顔で子どもの背中を押してあげられる保護者であってほしいと思っています。

それが、必ずお子さんの成長につながります。」

「家庭で育て！ 学校で高め！ 地域で磨く！」が大谷小学校の連携スローガンです。これからも、それぞれの立場で子どもの育ちを支えてくださいますようお願いします。（※1 遠藤造語 正しくは、冬「山眠る」）



自分の命は自分で守る！

1月16日（金）、冬季（積雪）の災害時、安全に避難できるよう避難訓練を実施しました（上学年は、消火訓練も実施）。

国内では、地震や火災などの災害が毎日のように報道されています。災害は、いつ身近に起こるかわかりません。大谷小学校では、冬季、屋根からの落雪のため、校舎外へ出られる経路がかなり限定されます。冬季の避難経路、そして、「自分の命は自分で守る！」ことを再確認しました。



【おめでとう】 第44回全国児童画コンクール

寒河江西店 入選 塚本 大真 志藤 春人